

# ヒルズボロの現状 2019

2019年の現在、ヒルズボロは、ビジネスに優しいコミュニティを求めている企業のための場所であり、住民とその家族が生活を営み、楽しむための場所であり続けています。ヒルズボロは101,000人以上の居住者を有する州で5番目に大きい都市であり、オレゴン州の経済的原動力でもあります。コンピュータおよびエレクトロニクス産業に支えられ、高度な製造、バイオテクノロジー、情報技術および食品加工に支えられた当市の多様な産業基盤により、ヒルズボロの経済は経済危機にも屈しない強靭さを持っています。この産業の多様性のおかげで、居住者の雇用機会、さまざまな給与の仕事、住宅の豊富な選択肢、色々なレクリエーション活動の提供が可能となっているのです。

## 産業：ヒルズボロの強み

ヒルズボロは、シリコンフォレストの中心地であり、オレゴン州のインテル、東京エレクトロン、ダイニック、エプソン、日立ハイテクノロジーズ、荏原製作所、旭硝子などの大手テクノロジー企業の本拠地です。それゆえ、ヒルズボロの製造業の仕事の85%がハイテク製造業であり、オレゴンのハイテク製造業の仕事の41%がヒルズボロにあるという事実も驚きではありません。さらに、道路、通信、水、電力などの最先端のインフラ設備のシステムにより、当市の産業は市場で競争力を維持するために必須であるユーティリティへのアクセスと供給を確保できているのです。

## 労働力

教育を受け熟練した労働力の確保は、ビジネスの成功のためには必須であり、またコミュニティの住民にとっても最優先課題です。昨今の低い失業率を見れば、我々ヒルズボロ市の地元企業にもたらされる課題が見えてきます。市は、ヒルズボロの先端術分野の製造業数社で構成されるヒルズボロ高度製造作業グループを設立し、市のスタッフと教育パートナーに助言とガイダンスを提供しました。熟練した労働力や多様な人材を保持すると同時に、中等教育の学生の就職への

経路を作り出す目的で、こういったことに力が注がれています。現在参加している企業には、東ソー・クオーツ、ジレーセミコンダクタ、アプライドマテリアルズ、ジェネンテックなどがあります。教育パートナーには、ヒルズボロ学区とポートランドコミュニティカレッジが含まれます。



## 注目の事業活動



今年の初め、インテルは数十億ドル規模の拡張となるD1X Mod3の建設を承認、建設に取り掛かりました。現在進行中のこの新しい投資は、インテルがいかにオレゴンの事業に関心を持っているかを再認識するものであり、またこの新施設によりヒルズボロの半導体産業は成長し続けることでしょう。この拡張により、92,903平方メートルのファブスペースが追加されると予測されています。インテルの事業は現在、ヒルズボロ地域で20,000人の雇用を占めており、州最大の民間雇用主です。ヒルズボロ市はインテルによるこの拡張準備を支援するべく注力してまいりました。

- 建築部門には、インテルの拡張に特別に割り当てられた建設計画の審査担当者と検査担当者を含む10名を配置しています。
- 地域発展担当のスタッフは、2019年1月からインテルプロジェクトチームとプロジェクト調整会議を毎週実施し、インテル拡張プロジェクトを調整およびサポートしています。
- 市の審査チームは、この非常に大規模な設計建設プロジェクトをサポートするために市側のプロセスを修正しました。

インテルはまた、新しい多目的ビルの建設を含む第2の拡張プロジェクトを調整中です。5階建て、1,800台分のスペースがある駐車場、中央ユーティリティビルなどを含み、総面積は約80,082平方メートルとなる予定です。敷地改善計画には、冷却塔と歩行者通路建設も含まれています。

### Genentech

ジェネンテックは現在、ヒルズボロテクノロジーパーク内の施設において12,077平方メートルの拡張工事を行っています。この新しい投資により、現在の充填/仕上げ作業に追加し、生物製剤の製造が可能になります。また、ジェネンテックの現在450人のヒルズボロ従業員に対しさらに150人が追加雇用されることとなります。フェーズI (Phase I) の建設は2020年に完了する予定です。



JSR マイクロは近年、最先端の7,432平方メートルの新しい施設建設に着工し、同社の半導体材料製造能力を拡大しています。新しい施設は、品質保証/品質管理部門、エンジニアリング、高度なプロセス制御機能を完備した製造施設となります。この施設は、この地域におけるJSR マイクロの最初の投資であり、1億ドルの費用がかかると予想されます。操業開始は2020年に予定されています。

### KoMiCo

コミコテクノロジーは、ヒルズボロに新しい施設を建設中です。同社の技術とは、半導体製造プロセス中の機器部品から汚染物質や粒子を除去し、それらを元の状態に復元するというもので、それにより消耗部品の使用を減らし、機器の寿命延長につなげることが可能となります。2.3ヘクタールに5,574平方メートルの建物を建設中ですが、2020年に操業を開始したときの雇用は110人と推定されています。

### ThermoFisher SCIENTIFIC

サーモフィッシャーサイエンティフィックは、2016年にヒルズボロに拠点を置くFEI社を買収した後も、この地域で好調な走り続けています。同社は、研究と高度な技術開発のために1,100人を採用しています。ごく最近、次世代のラマン分光計と顕微鏡を発表しました。彼らは、ヒルズボロの半導体産業と現在成長中のバイオサイエンス産業双方にとってきわめて重要な製造業者です。

ヒルズボロを訪れるなら、日本のアーバンホテルグループの子会社であるシダーツリーホテルのエグゼクティブスイートを間もなく堪能できるようになります。4階建ての7,060平方メートルの敷地には120の客室とホテルの関連設備、レストランを備えています。温泉と露天風呂を備えた和風テイストに包まれた空間で、太平洋岸北西部独特の体験ができます。





## 主な開発エリア

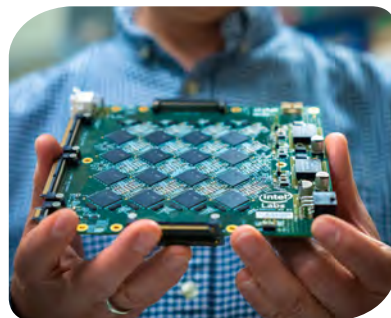
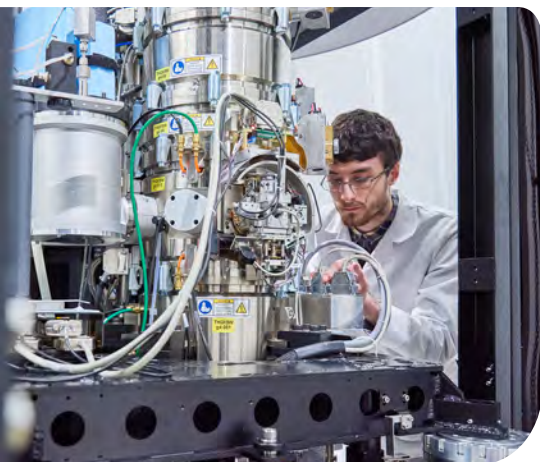
### 南ヒルズボロ

20年近くに及ぶ基本計画立案を経て、ポートランドのダウンタウンからわずか16 kmの地、サウスヒルズボロと呼ばれる567ヘクタールの住宅開発地域が現在建設中です。一条USA (Ichijo USA) は最近、南ヒルズボロのコミュニティの1つであるReed' s Crossingと呼ばれる地区の住宅建築開発者のリストに加わることを公表しました。その開発において同社は「洗練された技術と、環境への優しさをユニークに組み合わせた家」を実現します。一条はこの秋に23戸の一戸建て住宅を建設する予定であり、将来的にはさらに多くの選択肢が出来る予定です。同社による最初の家は2020年初頭までに準備が整うはずで、すべて完成すると、南ヒルズボロは8,000の住宅が立ち並ぶ20,000人のコミュニティとなります。また、店舗とアメニティを備えた2つの商業センターも建設される予定です。

### 北ヒルズボロ

324ヘクタールを超える面積を持つヒルズボロテクノロジーパークは、ヒルズボロとポートランド大都市圏への産業投資の新たな発展と成長のチャンス象徴とされています。質の高い建築設計、強固で長持ちし、かつ冗長化されたインフラ設備、および従業員向けの公園のような設備を備えた世界クラスのビジネスパークにすることがヒルズボロ市のビジョンです。このテックパークは、ハイテク産業およびアドバンスト・マニュファクチャリングの使用向けに作られています。

市は、開発準備の整った敷地を提供するために、なくてはならないインフラ設備(ユーティリティと道路)の整備のため資金を投入し、尽力してまいりました。テックランド内のハイリライアビリティ変電所であるポートランドジェネラルエレクトリック(PGE)のShute変電所は、2015年に操業を開始しました。さらに、PGEは隣接する15.4ヘクタールの敷地を購入し、まもなく新しいEvergreen変電所の建設を開始します。現在、産業規模の水道施設がテックパークの東半分を設置され、ジェネンテック、JSRマイクロ、およびいくつかのデータセンターを含むテックパーク内の企業・施設の利便性のために、道路整備と下水道の追加建設工事がまもなく開始します。



## ヒルズボロからのニュース

### ハイライトサービス

ヒルズボロ市はまもなく、ヒルズボロの住民と企業に高速ファイバーブロードバンドインターネットと電話サービスを提供し、スマートシティ化の機会を最大限利用していきます。市は2020年に、まずは南ヒルズボロの住宅開発地域とダウンタウン近くのSWヒルズボロの選ばれた2つの地域で、居住者および企業向けのHiLightサービスを開始します。

### ヒルズボロ空港

ヒルズボロ空港はオレゴン州で2番目に活気がある空港であり、企業のビジネス航空、飛行訓練、地域のレクリエーションニーズをサポートする一般的な航空サービスを提供しています。

### 滑走路の完成

ヒルズボロ空港の管理者であるポートランド港湾局は、2019年9月に滑走路のアップグレードを完了しました。1日18便運行するインテルの便は滑走路建設中、一時的にポートランド国際空港に迂回しました。

### 貨物サービス

現在ヒルズボロ空港では、2018年秋に開始されたUPSによる航空貨物サービスが毎日利用できます。このサービスは州、ポートランド港湾局、ヒルズボロ市、UPS、地元企業の協力により実現しました。新しくできた夜の便は、ヒルズボロとPDXを結んでいます。

### 広島ツリー

ヒルズボロがツリーシティUSAに指定されたことを記念して、2019年4月22日にジャクソンボトム湿地保護区に広島平和ツリーが植樹されました。広島樹齢300年のイチョウの木の種子から成長した苗木は、復活の力、希望、平和について物語っています。被爆樹木から採れた種と苗木は、世界の34か国で見つけることができます。ジャクソンボトム湿地保護区での植樹式には、ヒルズボロ市および地元の日本人コミュニティのメンバーからの代表者が出席しました。

### 日本領事館

日本領事館は、2011年に東北地方で起きた地震と津波からの復興を記念するイベントを開催し、2020年の夏季オリンピックの東京開催によって象徴されるその復興を祝しました。イベントの日の午後、オリンピックの精神に則り、食べ物、催し物、ゲームを開催して人々をもてなし、津波の後に日本からオレゴン州のビーチに漂着したゴミの掃除を手助けしてくれたこの地の人々に感謝の意を捧げ、日本とヒルズボロ市の間で芽生え育ったビジネスとコミュニティの強いつながりに感謝の思いを届けました。



October 2019



#### CONTACT:

Jim Riley

Senior Economic Development Manager

James.Riley@Hillsboro-Oregon.gov